

情報通知

研究課題名：

半側空間無視患者に対する Posner 課題の尺度特性—予備的研究—

研究実施者：

平野 晋吾¹⁾(責任者)、五十嵐 達也²⁾、山口悠³⁾、里見 文歌³⁾、高井 翔平⁴⁾、猪岡 弘行¹⁾

1) 埼玉よりい病院 リハビリテーション科 理学療法士

2) 文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科

3) 埼玉よりい病院 リハビリテーション科 言語聴覚士

4) 埼玉よりい病院 リハビリテーション科 作業療法士

研究の目的：

半側空間無視は主に脳卒中後に生じ、左側の空間に対して適切に反応することや注意を向けることができなくなる症状です。この症状はリハビリテーションの進行度に影響を与えることがわかっており、この症状に対して適切に評価し、機能改善に向けたリハビリテーションを実施することは、対象者の身体機能・生活の質(OQL)の維持・向上において重要です。半側空間無視に対する評価の代表的な1つに、Posner 課題があります。Posner 課題は半側空間無視に対して十分な判別精度を有していることが報告されています。しかし、判別するための明確な基準値や妥当性は明らかとなっておりません。これらを明らかとすることは、患者様の症状の把握とそれに基づくリハビリテーション戦略の立案に有益な知見となると考えられます。本研究の目的は、半側空間無視を有す患者様に対する Posner 課題の基準値や判別精度、妥当性を明らかとすることです。

研究の対象：

2023年9月～2024年3月の間に埼玉よりい病院のリハビリテーション病棟へ脳血管疾患にて入院し、リハビリテーションを実施した患者様とします。当院の診療録データベースの情報を見返して、情報を集めさせていただきます。対象となることを希望されない方は、最下部の連絡先までご相談ください。

収集する情報：

①年齢、②性別、③疾患名、④疾患部位、⑤発症日、⑥Posner 課題の結果、⑦日常生活上での半側空間無視検査の結果、⑧机上での半側空間無視検査の結果となります。

情報の保管および破棄、情報公開の方法：

データを解析する段階では、個人を特定できる情報は含まれません。検査結果は Excel への出力および ID 番号を用いて対応表にて管理します。ファイルはパスワードでロックし、HDD は施錠可能な室内にて保管します。研究終了後(令和 6 年度 3 月)のデータの取り扱いは、デジタルデータがいかなるソフトウェアでも復元できないよう PC 上で完全に削除します。

見込まれる医学上の貢献：

半側空間無視を有す患者様に対するリハビリテーションを実施する際の介入戦略の基盤となる知見が、明らかとなる可能性があると考えております。

研究に関する問い合わせ先：

住所：埼玉県大里郡寄居町大字用土 395 番地

電話番号：048-579-2788(内線 532)

担当者：埼玉よりい病院 リハビリテーション科 平野 晋吾